

令和5年度第1回総合交流施設建設を更に推進する会 議事録

日時：令和5年1月26日（月）18：30～

場所：役場2階会議室

1 開 会

2 議 事

（1）ようていあしばープロジェクトについて

①これまでの経緯

②基本構想・基本計画の内容について

（2）建設候補地について

（3）建設規模について

（4）その他（現時点でのご意見・ご要望）

○事務局

時間前ではありますが、全員がお揃いですので、始めたいと思います。

ただいまより、第1回「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会」を始めます。

【委嘱状交付】

会に先立ちまして、委嘱状の交付を行いますが、交付の前に名前を読み上げますので、その場に御起立ください。

代表で「古村 英次郎さん」に委嘱状を交付いたします。古村さん、前の方へ。

（委嘱状交付 町長→委員）

ありがとうございました。

本日お集りの委員の皆様におかれましては、一昨年の12月に和泊町総合交流アリーナ建設事業推進協議会から、答申を頂き、町民説明会を行ったことから、昨年9月に、推進協議会を解散しました。提出頂いた答申をもとに次は新たな若いメンバーを、事務局より推薦させていただき、委嘱状を交付させていただいたところでもあります。

町民説明会に出席した方は、御存じと思いますが、建設にあたり、将来の和泊町を担う若者の意見が反映されていないとの意見もございました。そこで、55歳以下の若い皆様に推薦した次第です。競技利用者だけでなく、子育て関係や福祉関係、観光の面からも選抜されて

おりますので、積極的な協議がなされると思っております。

委員委嘱の期間は令和4年12月1日から令和6年3月31日までとしておりおります。

「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会設置要綱」が12月1日から施行されたことから、任期は12月1日からとさせていただきます。

お手元の資料の任期が令和5年の12月となっておりますが、4年の12月ですので、訂正をお願いします。申し訳ございませんでした。

開会にあたり、前町長から、ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○町長

うがみやぶら。皆様方におかれましては、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。また委員を受けてくださったことに心より感謝申し上げます。どうぞ、よろしくお願いします。

ただいま、事務局の方よりありましたように昨年12月に委員会の方から答申を頂いたところであります。そこで、昨年各学校区で答申に対する説明会を開催し、町民の皆様にごっていただき、様々な意見をアンケートなどからも頂いたところであります。

これらを基に実際に造るにあたって、最良の場所、最良の規模というものを、ここで協議していただき、多くの皆さんに喜んでいただき、たくさん使っていただけることで、「造ってよかったなあ」と思ってもらえるような素晴らしい施設建設に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方の忌憚のないご意見をたくさんいただきまして、それらを盛り込んだ使う人たちにとって、また将来の子どもたちにとって、かけがえのない素晴らしい施設になるとしたら、「あの施設があるから、この島は凄いいねえ。」と子どもたちに喜んでもらえるような施設にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

○事務局

ありがとうございました。それでは、会次第の4番目、会長及び副会長選任について図りたいと思います。和泊町総合交流施設建設を更に推進する会設置要綱第5条に「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」となっております。

どなたか会長を引き受けてくれる人は、いませんか？いないようなので、事務局から古村委員に会長、そして徳田委員を副会長に推薦いたします。

徳田委員におかれましては、本日不在ではありますが、事前に承諾を得ております。委任状の提出もありますので、「皆様から承諾を頂ければ、お受けします。」とのことでした。

いかがでしょうか。皆様に、ご異議がなければ拍手をお願いいたします。

(全員拍手がありました)

ありがとうございます。早速ではありますが、古村会長からご挨拶を頂きたいと思います。

○会長

今、会長になりました古村英次郎といいます。職業は株式会社オールディヴィレッジという町づくりコンサルティングの会社と島内では、ガイドやツアーオペレーターの仕事をしております。

「なかなかの大役を仰せつかったなあ」と思っていますが、僕も高校までは、沖永良部高校野球部に所属しておりまして、そこにいる前田さんにしごかれていたんですけども、とても未来のある施設建設に参加できることを喜ばしく思っております。

人口が少なくなっている中で、様々な行政の説明が難しい中で、より町民に喜んでもらえる。かつスポーツというか、産業として成り立っていける核になるような施設になれば、将来的にもこれがあって良かったねと言われるような施設になればと思っておりますので、皆様の様々な各分野からの知恵を拝借しながら、進めていきたいと思えます。

今日も忌憚のない意見をどんどん出していただいて、良い施設をみんなで創り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○事務局

本協議会は 設置要綱第6条第2項で、「会議は委員の過半数が出席しなければ開くことができない」となっております。定員数10名に対し、委任状の提出が4名、出席者8名、合計10名ですので会議が成立することを報告させていただきます。

それでは、会次第に沿って協議を進めていきたいと存じますが、設置要綱 第6条第1項に、「会長が会議の議長となる」となっておりますので、古村会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

○会長

はい、では協議を進めて参りたいと思えます。

(1) ようていあしばープロジェクトについて、①のこれまでの経緯について、事務局の方で説明をお願いします。

○事務局

これまでの経緯ということですので、町民体育館は施設の老朽化が著しいことと、一部の競技種目において、企画や規模が大会規定に適合していないことから、平成24年より建て替えが検討されてきました。

また、役場庁舎においても、老朽化で建て替えが必要な時期になっており、平成28年に町民体育館は解体されました。

「庁舎は、防災等の拠点であり、町民の生命を守るための本拠地になるべき施設」であることから、庁舎が先に建設された次第です。

町民体育館においては、令和2年8月に前伊地知町長から「和泊町総合交流アリーナ建設事業基本構想・基本計画について」諮問があり協議会において、アンケートを含様々な議論の末、令和3年12月9日に当協議会より答申がありました。

その答申を受けて、令和4年1月26日に大城校区、5月16日内城校区、17日和泊校区、18日国頭校区と町民説明会を開催してきました。

その後の町民からの意見として、多くの賛成意見がありました。中には建設候補地については「遠い」「地盤が弱い」規模については「広すぎる」「サブフロアは要らない、等の意見が寄せられ、その他にも「原材料が高騰している中、建設は時期尚早ではないか」「町の借金を背負う若者が協議会委員にも入っておらず、意見が反映されていない」との意見がありました。

今後は、前協議会からの答申をもとに、町民からの意見をふまえながら、施設建設に向けて取り組んで行こうと集まっていたいただいたのが皆様であります。

これまで建設検討委員会や推進協議会を得て、町民アンケートを基に協議を重ねてきており、その後、この会「更に推進する会」としておりますので、「必要ない」「白紙」とかの話ではなく、まずは、建設候補地や規模を中心に建設へ向けての協議が進められたらと考えております。

あと、文化部門からの音響設備や反響板について意見もありましたが、基本的には、文化施設は、この総合交流施設には組み入れないこととしております。

あかね文化ホールや知名町にはあしびの郷もありますので、そこを有効に活用していただけたらと思っております。私たちが考える施設には、組み入れないで良いじゃないかなという話が出ておりました。

また、音響施設や反響板、搬入口等を見直すことによりコストカットできると思います。もちろんこれからの協議で決定していきますが、そういう話もありましたことを付け加えておきます。

あと、これは事務局の中であった話ですが、憩の家の隣にある弓道場ですが、かなり老朽化が進んでいて、危険な状態なので、体育館横の軒下にでも、盛土を盛って、弓道の練習場を建設出来たらと考えております。

設計段階の話にはなと思いますが、老朽化した施設があるということも知っておいてほしいなと思います。これまでの経緯は、このような感じです。

○事務局

追加して良いですか。(1)にようていあしばープロジェクトと方言を交えたプロジェクトにしてありますが、資料はつけておりませんが、こういった内容かと言いますと今、町田の方が説明いたしました。和泊町のスポーツや文化の拠点となる施設を建設します。

というのがようていあしばープロジェクトの中にあります。詳しくは、各種イベント、ス

スポーツ大会はもちろんのこと島外からの集客も見込んだイベントや交流のできるアリーナとして、スポーツ・文化を通じて人間力を高めるとともに、心の豊かさを育む教育生涯学習施設として活用します。

また子育て世代が活躍できるスペースを設け、普段でも気軽に町民が集い、楽しむ場として活用してほしいということと災害時の避難箇所としても利用できるように有効活用しますというのが、ようてい、みんなで集まって、あしばー楽しみましょう。

というのが意味になっております。それが、ようていあしばープロジェクトってことで、こういった総合交流施設というものをスポーツだけでなく、子育てや防災施設としても避難施設としても活用できるような複合施設として考えたらどうかというようなプロジェクトとなっております。以上です。

○会長

ありがとうございます。次に②の基本構想・基本計画について説明をお願いします。

○事務局

基本構想・基本計画の資料は、二つありますが、日付が入っているほうが令和3年9月に九州経済研究所から上がってきたものです。

それを推進協議会の方で見直されて精査し、答申で挙げたのが、本日追加で配布しました冊子が、最終の基本構想・基本計画案となっております。

それを取りまとめたのが、この町民説明会の資料であります。

町民説明会の資料の前半はアンケートの集計となっております、うしろの3枚目が現在の建設候補地、後ろから2枚目が規模6400㎡で、最後のページが配置図となっております。

候補地は、町民グラウンドの芝以外の部分を想定しておりまして、規模に関しては6400㎡となっております。

場所については、大きな施設を建設するってことで、塩害の少ない内陸部が良いという意見が多くて大きい施設なので、私有地を購入して建てるより、町有地に建てた方が建設費用が抑えられるんじゃないかという意見から、グラウンドに建設するってことになっております。

ただ、グラウンドが無くなると新たにグラウンドの整備も必要になってくるので、これはまた皆さんと考えていけないところですが、A3用紙の地図があると思いますが、その中で黄色で囲っているところが町有地で、青の線で囲っているところが私有地であります。

このスペースをうまく利用して、建設出来たらなあという意見で、今のところ、第一候補地となっております。ここにどうやって立てるか皆さんに協議して頂きたいと思っておりますが、ここでもなくても他に良いところがあるとか、うちの土地を使ってくださいとかあれば、教えていただければと思います。

町民からの意見もありますので、皆さんで、いろんな案を出していただきたいと思います。基本構想・基本計画については、以上です。

○会長

ありがとうございます。委員の皆さんは、これ（資料）事前に送られてきたと思いますけれども、内容はそれなりには見て頂けてる感じですか？もし可能であれば、内容について、特徴的な回答だったりとか、ポイントだけでもざっと話していただけたりしますか？

○事務局

町民説明会の資料で説明いたします。資料の3枚目にアンケートの考察ということで、円グラフがありますが、各年代を見てみますと20代から30代、特に20代が少ないですが、バランス良く回答されております。

回答者の職業を見てみますと会社員から自営業、公務員、主婦、パートとかバランス良いアンケートの結果で、3,000人に配布しましたが1,078票ということで36パーセントの回収率。

これは、充分に有意義な回答を得られたじゃないかという結果です。捲っていただきまして、町民体育館が無くなって4、5年経っておりますが、「スポーツの活動は、どうしましたか」てことですが、ブルーのところが活動しなくなった、ピンクのところが別の場所で活動したとありますが、どちらかというのと別の場所で活動していると。

今、町民体育館が無くなって、現状としては、各小学校、中学校の体育館を活用しております。

それでどういった支障があるかと言ったら、やはり部活動だったり、学校行事で体育館が使えなかったり、各連盟やスポーツ団体が使いたいんですが、ほぼ埋まっている状況。ということでなかなか使いづらい現状となっております。

次のページですが、「建設候補地として重視することは何ですか」とあるんですが、先ほど町田の方が言っておりましたけど、この3つ赤で丸が付いておりますが1番目に「様々な機能を導入できるなどゆとりのある敷地面積が確保できる」というのが、1番多かったということです。

次に1番下の方に、「町が保有する土地に建設する」と「建設に係る費用が抑えられる」ということです。

3番目に「コンサートやイベントの開催が出来る環境であること」ということで、こういことを考えてみたら、やはり、ある程度の面積が確保でき、しかも町有地に建てることで建設費が抑えられるということから、城中グラウンドの方に建設候補地として選定しております。

次に、捲っていただきまして「どのような施設であることを期待しますか」てことなんで

すが、1番多いのが町民スポーツに利用できる場、次に多いのが災害発生時に一時的な避難生活や防災活動の拠点として利用できる場と、やはり避難施設として使いたいと、3番目に文化活動とか各種イベントで利用する場となっており、最初のようにあしばープロジェクトで掲げた通りの内容となっております。

次のページですが、「各年代別にどのような施設になることを期待しますか」ということですが、年代別でちょっと目的というか期待が違ってまいります。

20代、30代の方々は右のほうに黄色で示しておりますが雨の日など屋内で子どもを遊ばす場とか割と多くの若者が期待しているところですが50代、60代、70代はグレーのところになってまいります。

グレーのところでは、災害時の一時的な避難生活や防災活動の拠点として利用できる場というところに当てはまってまいりますので、各年代的でニーズが違っていると思いますが、全体を通して見てみますと、町民がスポーツを日常的にできる場というのが多く見られました。

その次は、「メインフロア以外にスポーツ施設としてあったらどういったものが良いのか」ということで、多かったのが多目的運動施設、それからトレーニング室、サブアリーナという結果となっております。

次のページが、スポーツ施設以外であったら良いんじゃないかということで、1番多かったのが、防災備蓄倉庫、その次が文化関連事業が可能な機能、そしてシャワー室となっております。

捲っていただきまして、これを年代別に見たものが載っておりますが、20歳未満ではシャワー室で70代では会議室と各年代ごとに違ったニーズが見られます。

こういったところから、次のページですが、基本方針として4つ方針を掲げております。するスポーツに対応できる施設、あと見せるスポーツに対応できる施設、そして3番目にスポーツだけでなく文化行事などを幅広く活用できる施設、4番目に環境にやさしく非常時に安心安全利用できる施設ということで、基本方針を固めたところであります。

次の方が設備等の機能について方向性とかが書いてございます。で、次に候補地のところでございますが、先ほどの説明にもありましたが、十分な町有地として確保できるということで、内陸部で防災上の安全性も高いということから、町民運動広場周辺という形で、最終的な候補地としております。

ここに図面が載っておりますが、これはあくまでも案として町民説明をするために配置したもので、確定しているものではありません。今後、この場で決定できればなと思っております。

次のページですが6施設規模についてございます。メインフロアとしてバレーコート2面、それからサブアリーナ1面という形でトータル6,400㎡という形にしておりますが、サブアリーナというのが、バレーコート1面で観客席がないという状況と想定しております。

メインフロアの方に観客席 200～300 を考えております。

次のページに参りまして、建設費についてです。当初 6,400 m²で計算しておりますが、単価が 48 万で計算して、約 31 億となっておりますが、近年の資材価格高騰に伴いまして、建設単価が非常に上がっております。

民間でも 100 万以上坪単価になっているという話を聞いておりますので、倍近くなっていると思います。前田さんそうですかね。

○委員 それぐらいだと思います。

○事務局

恐らくそうなりますと、倍で約 80 億ぐらいになる現状であります。なので、今すぐこの建物が建てられるかと言われますと難しいのかなと思いますが、あくまでも 6,400 m²で計算した場合、そういった形になります。

8 番目にスケジュールが書いてございますが、これはおよその計算ですが約 45 か月掛かるという見込みでございます。

下の方にありますが、基本設計・実施設計で 1 年 8 か月、建設期間が 1 年と 6 か月掛かると見込んでおります。

この表につきましては、昨日の字常会で配られました議会だよりに掲載されております。あとで、ご覧いただければと思います。主なところは、以上となっております。

○会長

はい、ありがとうございます。(2) (3) の建設候補地、建設規模については今の説明に入っておりますね。

(4) のその他になるんですが、今までに説明を受けた感想だったり、委員に選ばれての話だったりとか、そういうのがあったら、お話しいただきたいと思います。

では、そちらから右回りで・・・

○委員

スポーツ推進委員ということと福祉関係者ということで声を掛けていただきました。どういった形になるか今後進めていく上で、決めていくことになると思いますが、高齢者だったり障害者がいるところで、やっぱり和泊町だけでなく都会、他の市町村も頭を悩ませている部分も多くあるのかなあと思うので、せっかく造るのであれば分け隔てなく造れたら、じいちゃん、ばあちゃん、子どもたちが一同になって交流できる和泊町のためになるような施設になったら良いなと思っておりますので、これから検討出来たらと思いますので、よろしくお願いします。

○会長 今の方針で、気になったところはないですか。

○委員

正直なところ、高齢者が集まりやすい場所と言った時に、実際、字の公民館にすらなかなか遠くて行けないという方もいるので、交通機関の充実も必要だと思ったところでした。

○委員

お疲れ様です。今回、名簿見て周りの方が凄く和泊町だったり、沖永良部で動いている方ばかりだったので、「うわぁ」ってなりました。

あまりにも大きな場に来ちゃったかなあと緊張しておりますけど、10代と20代の意見を届けるため参加させてもらってます。なんですが、僕は中学校までここに来て、8年ぐらい島外で生活しておりましたので、ここ数年の和泊町の動きだったり、(町民体育館)前回どこに建っていたかも、よくわからない状態なので、ですが逆に何も知らないからこそ、素朴な疑問とか、こうしたら良いんじゃないかっていうのが自分の中で出てくると思うので、まだまだ若いので、ピュアな意見を出していけたらと思っております。よろしくお願いします。

○会長 資料については、何か(意見)ないですか。

○委員

まず思ったのは、31億円。今聞いたのが見込みで60億ぐらい。そしたら、1年間に1億ずつ返済したら、60年掛かる。僕が80歳。生きてるかどうか判らないですが、そこまでは、背負えないというか、なので、単純にコストを抑えて、更に収益が上がるような形で考えていけたら良いかなと思っていますところですよ。

○会長 ありがとうございます。次に西温子さん。

○委員

観光協会から参加させていただきまして、島の産業のひとつとして、参加させていただいていると思っているところですけども、観光協会も施設を管理運営をしております、資料の中で思ったのが、建てるというのと、その施設をどう維持していくのかという計画も、今の段階であったりするのか、そういったことも見させていただいて、建てた後、どう維持管理していくのかということも一緒に今の段階から考えていかないとないなと思いました。

○会長 ありがとうございます。次に泉さん。

○委員

お疲れ様です。タラソおきのえらぶから事務局から指名されて、参加しておりますが、資料を読んで、正直、大きな事業なので、「どうなるのかな」と思うところであるんですけども、アンケートを見てみると、「キッズスペースが欲しい」とか「子どものことであったり」とか「スポーツが出来る場」でもっと活動出来たらなとアンケートを見て感じたので、私もタラソで子どもたちと触れ合うこともあって、保護者とも関わることもあるので、アリーナ施設について、もっと会話して、意見を聞いてこの会に入れていけたらなと感じました。

戦力になるか判りませんが、私も大阪の方に居たので、友達とかに子どもの施設だったり、スポーツの施設の話を聞いて、取り入れていけたらなと思っておりますので、よろしくお願いします。

○会長

よろしくお願いします。これだけの規模の施設を運営することも議論に上がってくると思っていますので、今やられているお仕事にリンクさせて、規模感も含めて教えていただければと思います。よろしくお願いします。では、前田委員。

○委員

皆さん、こんばんは。私は実際、生活拠点が隣町ということで施設建設については、新聞の情報だったり、人に聞くぐらいしか知ることができなかったんですが今回、委員に選ばれて、情報が収集できて良かったです。

ものすごく、このアンケート内容だったり、その後の住民説明会というのは、すごく良い場を作って実際に活動していただけたなとすごく伝わってきました。

自分たちの ELOVE でも、町の施設の指定管理をさせていただいている中で、スポーツの醍醐味というのは、するスポーツとみるスポーツ、支えるスポーツ、この三つがうまくリンクしていくような仕組み作りが取れば、永良部のなかでももっともっとスポーツ活動が展開出来ていくんだろうなと思っています。

アンケートの中で、いろんな思いがぎゅっと凝縮されたのが、最初に出された案なのかなと思っておりますので、先ほどあったように、建設費の高騰とかってところで、今後こそ規模をどう見直していくか、是非このような施設があれば、集客であったり、いろんなスポーツ団体の自主トレであったり、大会というところでも認知されて、島の活性化に繋がると思っています。プロ選手たちの活動を見ている子どもたちが、そこを目指して永良部を盛り上げてくれるという風に思っておりますので、自分の立場で意見等があれば出していきたいなあと思っておりますので、よろしくお願いします。

○会長

ありがとうございました。では、僕の方から1つあるんですけども「建設候補地で重視するところは何ですか？」ってところで、「ゆとりのある敷地面積が確保できること」あと「町が保有する土地に建設することで建設費用が抑えられること」この2つが大きく委員の方でもんでいくところだと思いますが、会もなかなか皆様のスケジューリングに合わせるのは、難しいと思うんですけど、出来るだけ密に連携して進めていければと思っています。

あと一つ、気になったのが、「雨の日などに子どもたちを屋内で遊ばせる場」というところで、造るのは出来るのかもしれないですけども、維持管理をしていく、ちゃんと預かれる人材育成も、アリーナの建設の時間が掛かるのであれば、並行して、マネジメントスタッフだったり一緒に並行していけば凄く良いだろうと思います。

良い形で運営が出来て、雇用の場の一つになるようなスポーツ施設になれば、より地場力を発揮するんじゃないかなと思いますので、そういった目線で、いろんな議論が出来れば良いと思いますので、期間中にお力や知恵をお貸しいただければと思います。

僕の方からも、挨拶とさせていただきます。一通りぐるっとご意見を頂いたんですけども、その他に現時点での御意見や言い忘れたことなどあれば、あと事務局からも言い忘れたことがあれば、出していただければと思います。

○事務局

今日1日で決定するわけではなくて、今までの流れが判っていただいたと思いますので、場所について、平面図もありますので、これの規模あとサブアリーナの有無も踏まえて、バレーコートが何面あったら良いのか、などの話が次の会で出来たら良いかと思います。アリーナと言ってもなかなかイメージしにくいと思いますが、島にないので入口に何年前に造られた模型があります。これは、この基本構想とは全く関係ないですけど、イメージするために置いてみました。

周りに観客席があって、360度から観客に見られるようなものがアリーナの良いところなのかなと思います。

○会長 町田さん、せっくなので、真ん中に持ってきませんか？

○事務局

そうですね。（準備して、模型を真ん中に移動し、みんなで鑑賞）

委員 構想が挙がってきた時に、どこかの施設を見に行ったりとかしたんですか？

○事務局

協議会で視察には行っていないですが、私とか、議会とか、役場職員は、視察に行ってお

ります。

例えば、指宿の体育館とか、桜島の体育館、あと蒲生ですかね、郡山の体育館、横に温泉施設がある施設を視察しましたが、そこは全て4面なんですよ。

非常に大きいなというイメージだったんですが、今回基本計画で挙げているのは、バレーコート3面ですので、指宿とかよりは小さくなる予定です。

与論の方が4面なんですけど、50m×30mなんです。それに近い形になると思います。しかし、そこまでは大きいのではないかと。費用とかを考えた時にバレーコートを2面とサブフロア1面で良いんじゃないかと、とかそういったパターンを考えて検討していけたら良いと思います。

○会長 では、次回のスケジュールはどうなっていますか。

○事務局

今年度に、もう一度開催する予定にしております。まだ日程調整は出来ておりませんが、2月末から3月頭には、もう1回お集まりいただきたいと思います。

○会長 その時までには、さっき言った場所と大きさを決めたら良いですか？

○事務局

バレーコートで考えたら、何面で良いじゃないの、みたいな感じで、意見聴取出来たら良いと思います。

○事務局

追加ですが、この場は新聞記者も来られて、オープンにしているところですが、議員さんも興味がありまして、傍聴させていただけないか、というお話がありまして、皆さんの意見を聞きながら、今回は遠慮してもらったんですけども、次回以降オープンにするのであれば、公開というか傍聴というのも公のものとして、やっていく方が町民の方々にも判るのかなと思いますので、提案なんですけど、意見は言わないので議員さんとか、第3者の傍聴を許していいでしょうか。意見が出にくくなることもありますが……。

○会長 今日みたいな会にはならないですよ。

○事務局

フレンドリーというか、簡単に意見が言いやすい環境にはしたいと思っておりますので……

○会長 全部じゃなくて、何回かに1回とかでも良いのかもしれないですね。

○事務局

とりあえず、話し合いの中で次回ある程度の話し合いをする段階になったときに入っていたとか、そういう形でよろしいですか。

○会長

最終的に、この会の到達するところは、住民説明会までするってところまでですか？

○事務局

説明まではしないで、住民説明会はこれまでも何回もしてきて、いろんな意見も聞いてきているので、推進する会ですので、これからは造っていくという具体的な話し合で・・・。

○会長

意見を集約していくと思っているということですね。では、2月末か3月初旬にお声掛けがあるということで、宿題はさきほどあった場所や規模だとかを意見聴取しておくといことでよろしいでしょうか。

○事務局

皆さんのご都合が、今わかる範囲で、抑えた方が良いのかなと思いますが、例えば、女性の皆さんは、お子さんとかいらっしゃったり、家庭があつたりで週の半ばの水曜日が良いだとか、金曜日が良いだとか、祝日は家庭サービスがあるので土日は止めてほしいだとか、あると思います。

○事務局

今考えておりますのが、27日か28日を考えておりますが28日は沖永良部高校の卒業式なので、その後お祝いとかが考えられますので、27日にしたいと思いますが、いかがですか？

○委員 私は大丈夫です。

○会長

では、いったん2月27日の同時間に決めておいて、変更があるようであれば、また連絡を回していただければと思います。あと、今日来ていない委員の方にも連絡をしてください。

○事務局

わかりました。あと、今年度は、地質調査を予定しておりましたが、建てる場所の8か所をボーリングする予定だったんですが当初の予算より価格が高騰しておりまして、様々なコストがありまして、8か所ボーリングするのは不可能となりまして、予算に合わせて、2、3か所の場所をボーリングしても信憑性のない結果しか出ない状況で、見送った方が良いのではないかと事務局の考えですが、今後この会で、地質調査においても協議していかなければならないと思っております。

合わせて、議会でも言っておりますが、児童福祉施設として新しい幼稚園と保育園を統合した施設も検討しているということで、こちらの方を前倒しで進めていく形で考えています。子育て支援ということで、交流施設より先に造ろうという形で示しているところです。

○会長

はい、それでは、今日の議題は終わりましたので、これで、閉会の方をしたいと思います。

○事務局

会長の素敵な進行で、会がスムーズに終わりました。ありがとうございました。これで閉会いたしますが、閉会の挨拶を教育長よろしくお願いしたいと思います。

○教育長

皆さんこんばんは。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。4名の欠席はありましたが、冒頭に委嘱状を受け取っていただいて、この会がこのように出発できたことをうれしく思います。

この推進会は、説明でもあったように、総合交流アリーナ建設推進協議会が解散しまして、それを引き継いで更に推進していく会であります。

今、私たちが話し合ったところは、以前の会でも話し合っただけで答申も受けて、町民にも説明会も終えた後に、まだ決まっていない、どこに建てるか規模をどうするか、いつ始めるか、それが一番重要ところですが新たな発想、新たな理念、新たな考え方で、問題を解決していただきたいと思います。

それが、私たちに課せられた課題ですので、城ヶ丘中学校周辺の地図を見て財源とも相談しながら、場所と施設の規模を決定していきたいと思います。

委員の皆さんには、大きな役割があると思いますので、それが重みにもなってくるでしょうが、みんなで知恵を出し合っただけで、町民から喜ばれる施設の建設に向けて頑張ってくださいと思います。

本当に、長時間にわたる審議ありがとうございました。

○事務局

これで、和泊町総合交流施設を更に推進する会，通称推進する会を終わります。ありがとうございました。

3 閉 会

— 以 上 —